

宮代町ゼロカーボン推進協議会 令和8年度第1回会議録	
日時	令和8年6月23日(火) 9:30~11:00
場所	宮代町役場 204会議室
出席者	協議会委員 : 新井会長・大場委員(宮代町)、坂巻副会長(宮代町商工会)、南委員(鈴木工務店)、尾崎委員(東武レジャー企画)、片岡委員(中村建設)、原委員(日本工業大学)、坂本委員(埼玉りそな銀行)、千葉委員(新しい村) アドバイザー: 雨宮教授 事務局(町): 田邊副課長、岡安主査、細根主事

内容
<p>【議 題】</p> <p>(1) 役員の選出について</p> <p>(2) 意見交換 令和7年度のカーボンニュートラル取組状況の振り返り及び令和8年度の活動計画について</p> <p>(3) 協議会啓発事業 町民まつりへの出展について</p> <p>【配付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮代町ゼロカーボン推進協議会規約 (資料1) ・カーボンニュートラル取組・計画シート (資料2) ・宮代町民まつり啓発イベント出展計画書 (資料3) ・宮代町ゼロカーボン推進協議会 会員名簿 (別紙1) ・宮代町の7年度のゼロカーボンの取組と8年度の計画 (別紙2) <p>【議 事】</p> <p>(1) 役員の選出について 事務局 : ・任期の満了に伴い、会長及び副会長の選任について、意見等確認。事務局への一任となり、会長に宮代町長、副会長に宮代町商工会坂巻委員を推薦。 ⇒異議なし。</p> <p>(2) 意見交換 令和7年度のカーボンニュートラル取組状況の振り返り及び令和8年度の活動計画について</p>

(資料2に沿って各委員より説明。)

雨宮教授： 宮代町の取組について、再エネ導入は町内で発電したものか。

事務局： 町内で発電されたものではない。再エネのメニューを購入しているものである。

雨宮教授： 公共施設にも再エネ設備があるかと思うが

事務局： 設備はあるが、ほとんどの電気が再エネを購入しているものである。

大場委員： 吊り下げ式のオークションという形を採用した。本来であれば、公共施設に太陽光の設置をし、目標である公共施設の50%に設置をするところであるが、設置をするにあたって、屋根に付随する工事等費用が発生するため、現時点の対策として、再エネを購入している。

原委員： 関連した質問として、東武レジャー企画も同様に再エネ電気への切り替えとしているが、太陽光を設置するより、購入する方が安いのではないかという考えか。

尾崎委員： 会社の指針である。

雨宮教授： 再エネは、東武鉄道で発電したものか。

尾崎委員： 自社で発電したものも一部ある。北春日部等の建物で発電したものも一部使用している。

(3) 協議会啓発事業

町民まつりへの出展について

(資料3に沿って各委員より説明。)

原委員： ゼロカーボン推進協議会としてののぼりは用意されるのか。

田邊副課長： コーナーごとに看板が設置されると思う。事務局と調整する。

雨宮教授： ゼロカーボンの周知にぜひ取り組んでいただきたい。

○アドバイザー意見

雨宮教授： 見える化について、実際にシートを使用し説明。

みなさまの様々な取組を実感した。

共通して、ガソリンの使用量があまり触れられなかったと感じた。更新をする際には、省エネ車に買換える等を検討してもらいたい。廃棄物を減らすこと、水を減らすこと、紙の使用量を減らすこともあげられる。こちら間接的にCO2の削減に寄与している。絶対量ではなく、効率的にエネルギーを使用しているかも重要である。(エコドライブ等)家電、車等は、省エネのものに切り替えてほしい。

公共施設の温室効果ガスの使用量を見てみると、電気の使用量が総合運動公園のA重油の使用量が多い。電気ボイラーが理想的。重油ではなく、ガスで動くタイプが理想的である。

●閉会

以上